

科目名		腹部障害特論（がん専門医師養成科目）	
科目責任者	平 田 敬 治	（第1外科学 教授）	
担当者	柴 尾 和 徳	（第1外科学 准教授）	
開講時期： 1年次		単位数： 0.5 単位	時間数： 90分× 4 回
● 科目の教育目標			
授業の目的			
腹部外科領域の悪性腫瘍について外科を中心として分子生物学を中心とする基礎領域・臨床統計や疫学・診断法および内科治療（薬物療法等）や放射線治療におよぶ包括的な理解を深める。			
到達目標			
1) 分子生物学をはじめとする悪性腫瘍に関する基礎学問における基本的な知識を習得する。			
2) 臨床統計や疫学に関する基本的な知識を習得する。			
3) 腹部悪性腫瘍診断に必要な画像診断等についての基礎的知識を習得する。			
4) 腹部悪性腫瘍の薬物療法と放射線治療法の基礎的知識を習得する。			
5) 腹部悪性腫瘍の治療に必要な精神医学・心理学等に関する基礎的知識を習得する。			
6) 腹部外科悪性腫瘍の治療に必要な他の外科領域に関する基礎的知識を習得する。			
7) 腹部悪性腫瘍に対する外科を含む集学的治療についての基礎的知識を習得する。			
8) 腹部悪性腫瘍におけるバイオマーカーに関する基礎的知識を習得する。			
9) 腹部悪性腫瘍の外科を含む集学的治療の現状と将来展望について概説することができる。			
10) バイオマーカーを用いた個別化治療の現状と将来展望について概説することができる。			
11) 腹部悪性腫瘍に用いられる主なバイオマーカーの測定実施を行うことができる。			
授業計画			
8月		1)、2)	
9月		3)、4)、5)	
10月		7)、8)、9)	
11月		10)、11)	
授業内容および方法			
スライドや資料を使った実習または演習。			
● 評価方法		検討会での討論・発表・レポート等で総合評価する。 評価基準として 優 （80点以上） 良 （70点以上） 可 （60点以上） 不可 （60点未満）とする。	
● 参考文献		講義の中で必要に応じ紹介する。	